

世界の海上輸送を支える デッキクレーン

世界の港で活躍するIHIブランド

IHIのデッキクレーンが世界で大活躍しているのを知っているだろうか？

船上で貨物の積み下ろしをするその製品は、IHIによって長年性能を磨かれ、世界の海上輸送を支えてきた。そんなデッキクレーンの現状と今後について紹介する。

デッキクレーンとは、船のデッキ(甲板)に固定して貨物の積み下ろしをするクレーンのことだ。荷役設備が整っていない港に寄港しても積み下ろしができるように、主にハンディサイズと呼ばれる貨物の積載重量1万8千トン~5万トンクラスのばら積み船に搭載される船上設備である。

近年、新興国の急激な経済成長を受け、船舶の新造



ばら積み船



120トン吊りダブルクレーン

ラッシュが訪れるとともに国内外でデッキクレーンの需要が急激に伸びている。

IHIが日本で最初のデッキクレーンを製造したのは1963年。以来、トップメーカーとして、常に機能改善、大型化、新機種の開発に取り組み、業界をリードしてきた。IHIのデッキクレーンは世界市場の約4割のシェアを占め、2006年には累計5,000台を達成している。その後も、さらに右肩上がりの成長を続け、その勢いはとどまることを知らない。

デッキクレーンの動力源は油圧モーターである。ポ



シングルクレーン



木材運搬船



シリンダクレーン



一般貨物船



冷凍運搬船

ンプで加圧された油を血液のようにデッキクレーン内に循環させ、モーターを駆動させることによって、クレーンを回転させたり、数十トンもの荷の上げ下ろしをさせたりする。そのモーターはIHI独自で開発したベーンタイプのモーターである。ベーンタイプのモーターは、シンプルな構造で故障が少なく、万が一故障しても修理しやすい。信頼性が高いのはモーターだけではない。主要部品には自社製品を使用しており、アフターサービスの面で迅速に対応できる体制も整えている。これは、世界中の港に寄港する船に載せる上で、

大きな強みである。

さらに、将来に向けて顧客ニーズに対応する技術開発も怠らない。消費電力を低減する技術、バルクキャリアの大型化に対応する技術、より高速で積み下ろしする技術などにも着手している。

さまざまな国々で貨物の積み降ろしに役立っているIHIのデッキクレーン。世界の海上輸送の一翼を担うその機械が、ますます活躍の場を広げていくことは間違いない。トップメーカーとして、IHIはこれからも世界の海上輸送に貢献し続ける。